

地域産業復旧復興支援事業

特定非営利活動法人未来産業創造おおさき(宮城県)

「地域産物の販路開拓事業」

【事業目的】

「おおさき産業フェア」の開催や「アグリフードEXPO(日本政策金融公庫主催)」「おおた工業フェア(東京都大田区主催)」への出展で販路拡大等を図っているが、「自社製品のアピールによる取引拡大」まで至っていない事業者が多い状況である。

そこで「販路開拓のための展示会への出展」とするためのノウハウや心得を習得するためのセミナーを開催する。自社製品のプレゼン手法、ターゲットの設定、営業トーク、ブース装飾等を学び、出展事業者展示会で活用できるようにし、今後の販路開拓を目指していくものである。

震災からの復興に向けて、大崎地域から多くの事業者が仙台、東京の展示会に出展しているが、「被災地」というだけでは、なかなか販路開拓に結び付くものではない。準備不足や営業力不足を実感している。その部分をカバーするセミナーと実践に取り組んでいく。

【事業実施状況・成果】

◆販路開拓セミナー開催

1回目 開催日：平成25年7月2日

場 所：大崎市役所東庁舎大会議室

(内容)

- ・前回の結果報告、来場者の傾向と分析
- ・効果的な商談の仕方
- ・展示会後のバイヤーへのフォローについて
- ・装飾など全体的なPRの仕方

2回目 開催日：平成25年9月10日

場 所：大崎市役所東庁舎大会議室

(内容)

- ・出展目的と対象の確認
- ・積極性を意識したブースづくり

◆アグリフードEXPO東京2013出展

開催日：平成25年8月22日～23日

場 所：東京ビッグサイト

(成果)

セミナーの開催により各事業者において工夫をこらし、事後商談へとつなげた。継続的な出展によりさらに効果が出てくると見込まれる。

また、今後のおおさき産業フェア、おおた工業フェア等の展示会等でも会員事業者から多くの参加が予定されており、より効果の高い出展のため準備をすすめている。

【今後予想される事業効果】

パンフレット等で文字情報を充実することや、アピールポイントを整理してディスプレイを配置する等セミナーで学んだことの実践により、展示会中効果的に商品の情報発信ができたことによる成果が各社ともにあらわれた。食品卸売、小売事業者との取引決定には、殆どの場合展示会后1ヶ月以上かかることから、これからさらに商談が増えていくと見込まれる。

また、その後開催されるおおさき産業フェアやおおた工業フェア等においても、セミナーの内容を踏まえて準備を整え、販路開拓につなげていく事業者が増えていくものと思われる。

新商品の開発は、販路、最終消費を常に意識していく必要があり、特に食品関連事業者を中心に、バイヤー向けに独自の商談会を開催予定とする等、販路拡大に取り組んでいく。